仕様書

NEDO IoT 推進部

１．件名

IoT を活用した新産業モデル創出基盤整備事業／データ基盤整備に向けた国際的な海底ケーブル事業に関する調査事業

２．内容

本事業では、グローバルに見た海底ケーブルの動向について、調査・検討を行います。

なお、本事業の実施にあたっては、国内外における先進的な取組事例についても調査を行いつつ、NEDO や経済産業省とも協議・連携の上で実施するものとします。また、議論を効果的に進めるために必要な資料の作成を行い、各種調査項目について調査・検討を行い、調査結果を取りまとめた報告書の作成を行います。

テーマ詳細

現在、センサーやビッグデータ解析等の技術の進化により、現実社会を情報（データ）という形でサイバー空間に写し取り、モデル化されたノウハウや経験・知識を活用し、自由に情報（データ）を組み合わせることで新たな気付きや発見を得ることにより、現実社会で新たな価値を生み出す IoT（インターネットオブシングス）によるイノベーションが加速しています。急速に進化している IoT の活用は、社会インフラの効率化や高付加価値化にも有効です。

2016 年 4 月 27 日に発表された経済産業省産業構造審議会新産業構造部会における「新産業構造ビジョン」での議論においても、「第 4 次産業革命」とも呼ぶべき IoT、ビッグデータ、ロボット、AI（人工知能）等による技術革新は、従来にないスピードとインパクトで進行しており、この技術革新を的確に捉え、これをリードすべく大胆に経済社会システムを変革することが、我が国が新たな成長フェーズへ移行するための鍵とされています。これを受け、NEDO においても IoT を活用した社会システムへの変革を促すことを目的に様々な取組を行っています。

こうした動きに加え、世界的な SNS、データセンター需要の高まりもあり、今般、国内及び国際間におけるデータ流通量は大きく増加しています。今後 IoT 社会がさらに進展していくことにより、この増加傾向はますます強まっていくことが見込まれています。こうした社会を支えていくためにはセキュアかつ強固なデータ通信網を整備することが重要です。とりわけ、国際間の通信を担う海底ケーブルは今後需要の伸びが期待されています。

他方、海底ケーブルシステムは、案件を企画して敷設後に運用が開始されるまでの期間が非常に長いため、敷設計画には長期的視野が必要となります。我が国の戦略として、グローバルにデータプラットフォームを構築する上で、そのプラットフォームの下地となる海底ケーブルについて実状を把握し、適切な対応を検討することが重要です。

こうした背景を踏まえ、以下の調査を実施します。

- 海底ケーブルのグローバル市場において、これまでの入札実績や導入実績が実際にどれくらいあるか調査を行い、それらの案件ごとにルート、時期、案件規模等をまとめます。導入された案件のルートに関しては、世界地図にマッピングをして、視覚的に把握できるようにします。
- 今後のデータ通信の需要増加によるグローバル市場の拡大を踏まえて、潜在的に延伸・拡張が見込まれるルート等の調査を実施します。
- 上記の調査を通じて得られたグローバル市場の動向を踏まえて、今後の我が国における海外ケーブル事業の目指すべき方向性を示し、提言としてまとめます。

３．調査期間

NEDO が指定する日から平成 31 年 3 月 29 日までとします。

４．事業規模および採択件数

平成 30 年度の事業規模および採択件数は、以下のとおり予定しています。なお、最終的な実施内容及び金額は、審査結果により提案額から減額することがあります。

＜調査事業＞予算額 1,600 万円を上限として、1 件採択

５．報告書

平成 30 年度終了時に、成果報告書の電子ファイル（PDF ファイル形式）を CD-R 等の不揮発性媒体に記録し、1 枚を所定の期日までに提出してください。

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出ください。

http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html

６．報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがあります。

７．その他

海外動向の情報収集を行う際には、NEDO 海外事務所と連携することも可能です。また、本仕様書に定めなき事項については、NEDO と実施事業者が協議の上で決定するものとします。